

日向地区 地域農業マスタープラン(実質化された人・農地プラン)

注:本様式は参考ですので、地域の話合いの結果に応じて、積極的に記載する項目を追加してください。

市町村名	作成年月日	直近の更新年月日
滝沢市	平成26年3月	令和5年3月31日
対象地区名(地区内の集落名)		
日向地区 (集落:大釜)		

1 対象地区の現状

① 地区内の耕地面積	49.06 ha
② アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	/ ha
③ 地区内における75歳以上の農業者の耕作面積の合計	/ ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	/ ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	/ ha
④ 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	2.00 ha
(備考)	
各面積は令和3年度のプランの実質化において用いた数値を引き続き使用している。	

注1: ③の「〇歳以上」には、地域の実情に応じて、5~10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。

注2: ④の面積は、別表「(参考)中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。

注3: アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。

注4: プランには、話合いに活用した地図を添付してください。

2 対象地区の課題

中心経営体が所有する農地は地域外にもあり、地域内においても集積はあまり進んでいない。農地が点在しており作業効率が悪い。

注: 「課題」欄には、「現状」を基に話合いを通じて提示された課題を記載してください。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地域内の中心経営体を基本として、他地域の認定農業者等の受け入れも推進していく。

注1: 中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。

注2: 「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

(1) 農地中間管理機構の活用	経営農地の集約化を目指し、出し手・受け手が農地を機構に貸し付けるよう推進する。受け手が営農困難になった場合も新たな受け手への付け替えを進めることができるよう中心経営体の登録及び貸付けを進める。
(2) 新規就農の推進	新規就農の掘り起こしを進める。
(3) 耕作放棄地の予防・解消	多面的機能支払交付金を活用した農地保全に取り組み、耕作放棄地や不耕作地の発生防止に努める。
(4) 高付加価値化の推進	市の特産品であるリンゴの高付加価値化に取り組み、所得増大を図る。

5 今後の地域の中心となる経営体の状況

(1) 経営体数

	個人・任意組合	法人
① 認定農業者	8 人	0 法人
② 認定新規就農者	2 人	0 法人
③ 集落営農組織	0 組織	0 法人
④ 他市町村の認定農業者	0 人	0 法人
⑤ 他市町村の認定新規就農者	0 人	0 法人
⑥ 基本構想水準到達者 ^{注)}	7 人	0 法人
⑦ 今後育成すべき農業者	4 人	0 法人

注：基本構想水準到達者とは、①～⑤以外の者で市町村基本構想で定める目標所得を上回っている者。

(2) 農地の集積面積

	集積面積	地域内の耕地面積	集積率
現状	24.10 ha	49.06 ha	49 %
今後	26.10 ha	49.06 ha	53 %

【参考】 中心経営体

No	属性	経営体名	現 状		今後の農地の引き受けの意向		
			主な経営作目	経営面積	主な経営作目	経営面積	経営範囲
001	到達	土井尻 剛行	水稲、小麦	0.5 ha	水稲、小麦	0.5 ha	日向、大釜東・館・上通り、小岩井、篠木
002	認農	齊藤 慶二	水稲、果樹、肉用牛	2.3 ha	水稲、果樹、肉用牛	2.3 ha	日向、小岩井、大釜東・館・上通り
003	認農	吉清水 幸貴	水稲、野菜	0.8 ha	水稲、野菜	0.8 ha	日向、大釜東・館・上通り、小岩井、沼・仁沢瀬
004	認農	大宮 一夫	水稲	2.7 ha	水稲	2.7 ha	日向、大釜東・館・上通り、小岩井
005	認農	武田 孝助	水稲、花き、加工	0.6 ha	水稲、花き、加工	0.6 ha	日向、篠木
006	認農	吉清水 秀明	水稲、野菜	1.9 ha	水稲、野菜	1.9 ha	日向、小岩井
007	認農	武田 哲、武田 惣一郎	水稲、花き	0.8 ha	水稲、花き	0.8 ha	日向、大釜東・館・上通り、牧野林
008	認就	主濱 和景	野菜	0.9 ha	野菜	0.9 ha	日向、小岩井
009	認就	茶屋場 健	野菜	0.2 ha	野菜	0.2 ha	日向、大釜東・館・上通り、篠木
010	認農	田沼 和俊	野菜	0.5 ha	野菜	0.5 ha	日向、大釜東・館・上通り、沼・仁沢瀬
011	到達	武田 修	水稲、果樹	2.2 ha	水稲、果樹	2.2 ha	日向、大釜東・館・上通り
012	到達	長岡 喜栄	水稲、小麦、果樹	0.4 ha	水稲、小麦、果樹	0.4 ha	日向、大釜東・館・上通り、小岩井、篠木
013	到達	武田 修	水稲、果樹	2.9 ha	水稲、果樹	2.9 ha	日向、大釜東・館・上通り、沼・仁沢瀬
014	到達	齊藤 誠	酪農	2.1 ha	酪農	2.6 ha	日向、大釜東・館・上通り、小岩井、沼・仁沢瀬
015	認農	三上 恒史	野菜	0.2 ha	野菜	0.2 ha	日向、上・中鶴飼、下鶴飼
016	到達	武田 源一(悦造)	水稲	0.2 ha	水稲	0.2 ha	日向、大釜東・館・上通り
017	到達	武田 幸雄	水稲、野菜	0.3 ha	水稲、野菜	0.3 ha	日向、大釜東・館・上通り、篠木
018	育成	武田 晴良	水稲、果樹、野菜	3.9 ha	水稲、果樹、野菜	3.9 ha	日向、大釜東・館・上通り、小岩井
019	育成	伊藤 敦子	水稲、野菜	0.2 ha	水稲、野菜	0.2 ha	日向、大釜東・館・上通り、小岩井
020	育成	武田 幸男	水稲、果樹	0.3 ha	水稲、果樹	0.3 ha	日向、大釜東・館・上通り、篠木、沼・仁沢瀬
021	育成	菅原 大誉	水稲	0.2 ha	水稲	1.7 ha	日向、大釜東・館・上通り、小岩井
022				ha		ha	
023				ha		ha	
024				ha		ha	
025				ha		ha	
026				ha		ha	
027				ha		ha	
028				ha		ha	
029				ha		ha	
030				ha		ha	
計		21 経営体		24.1 ha		26.1 ha	

注1:「属性」欄は、プルダウンリストから選択してください。

注2:「今後の農地の引き受けの意向」欄については、現状からおおむね5年から10年後の意向を記載します。

注3:「経営面積」欄には、プランの対象地区内における中心経営体の経営面積を記載します。